

令和3年度第2回三重県工業研究所
研究評価（事後評価）委員会の概要

1 事後評価の課題と評価結果

下記の研究課題について事後評価を行いました。評価結果は下表の通りです。

【研究課題】

- 課題1 食品・医薬品製造における物性制御技術開発（食と医薬品研究課）
- 課題2 砂型積層造形を活用した革新的鑄造プロセスの開発（金属研究室）
- 課題3 陶磁器新商品開発支援(3次元データを活用した陶磁器新商品デザイン開発支援)
(窯業研究室)
- 課題4 鑄物廃砂減量化技術開発事業（金属研究室）
- 課題5 耐熱陶器リサイクル技術開発事業（窯業研究室）

【評価結果】

各課題の評価結果（カッコ内の数字は評価委員数 複数回答含む）

課題	各項目の評価結果【※】				
	目標達成度	技術の発展性	移転・普及性	今後の方向	コメント集約
1	A(2) B(2)	1(4)	1(3) 2(1) 3(1)	1(1) 2(3)	事業化の検討を進めているとのことであり、他素材の食品を含め、今後の広がり期待したい。
2	B(4)	1(3) 2(1)	1(2) 2(2) 3(1)	1(1) 2(3)	・バインダ量を低減させる方法の提案につなげてもらいたい。 ・新たな技術課題（企業ニーズ）を見出しており、今後の進展に期待したい。
3	B(4)	1(1) 2(3)	2(4) 3(1)	1(1) 2(3)	地場産品の維持・発展のためのサポートに今後も期待したい。
4	B(3) C(1)	2(4)	2(1) 3(3)	1(2) 2(2)	・実際の削減に向けて継続していただきたい。 ・単県ではなく他県とのノウハウ共有は必要。
5	B(4)	1(2) 2(2)	1(1) 2(1) 3(3)	1(3) 2(1)	メーカーにとってのインセンティブをどう伝えるかが課題。

※各項目の評価基準

(目標達成度)

A : 目標以上、B : ほぼ目標通り、C : 一部不十分、D : 不十分

(技術の発展性)

1 : 全体として発展性有り 2 : 一部発展性有り 3 : 発展性は少ない

(移転・普及性)

1 : 技術移転の可能性有り 2 : 製品化・普及への具体性有り 3 : 情報として有効

(今後の方向)

1 : 新規課題として新たに目標を設定し達成を図る 2 : 継続して目標の達成を図る

3 : 課題を終了する